

令和2年度(2020) 水道事業会計決算概要

1. 概況

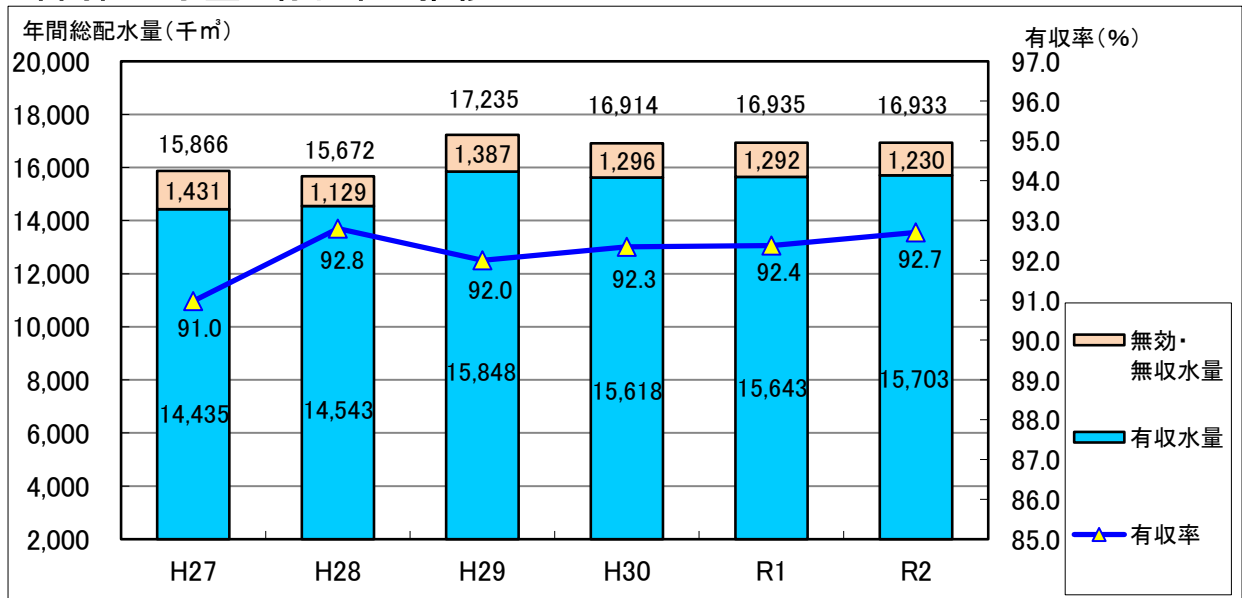
令和2年度は、経営の安定化と施設整備の推進を図るため、4月から水道料金を平均12.5%引上げる料金改定を行い、「安全で安心な水を安定供給し続ける水道」を基本理念とする出雲市水道事業ビジョンに基づき、施設の更新や耐震化等の取組をさらに進めました。

業務面では、給水戸数は前年度より増加しましたが、給水人口は前年度より減少しました。年間総配水量については、うるう年だった前年度よりわずかに減少しましたが、年間総有収水量及び一日平均配水量は、前年度より増加しました。

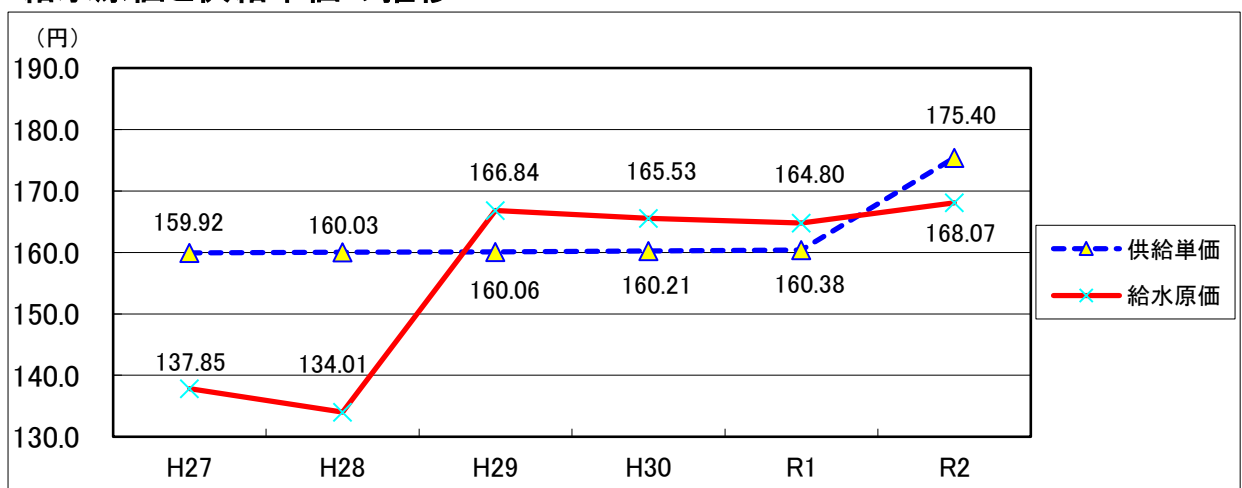
施設面では、新向山配水系配水本管整備事業(配水本管二条化)や老朽化した施設の更新及び耐震化等の取組を推進し、災害に強い施設の構築を進める一方、安全で安定した水源を確保するため、新規水源(来原系)の開発や出雲・平田地域の水運用に係る連絡施設整備事業の計画を進めました。

区分	令和2年度決算	令和元年度決算	増減
給水戸数(戸)	56,404	55,721	683
給水人口(人)	143,116	143,552	△ 436
年間総配水量(m ³)	16,933,328	16,934,751	△ 1,423
年間総有収水量(m ³)	15,703,450	15,642,993	60,457
一日平均配水量(m ³)	46,393	46,270	123

2. 年間総配水量と有収率の推移



3. 給水原価と供給単価の推移



※ 供給単価 = 給水収益 / 年間総有収水量
給水原価 = (給水費用 - 長期前受金戻入) / 年間総有収水量

4. 収益的収入及び支出

(単位:千円 税抜)

区 分	令和2年度 決算	令和元年度 決算	平成30年度 決算	令和2年度決算と 令和元年度決算 との差
水道事業収益	3,509,698	3,291,928	3,252,174	217,770
営業収益	2,911,834	2,671,024	2,632,545	240,810
水道料金	2,754,367	2,508,837	2,502,051	245,530
受託工事収益	82,541	88,734	81,448	△ 6,193
原因者負担金ほか	74,926	73,453	49,046	1,473
営業外収益	597,787	620,862	618,194	△ 23,075
加入金	82,570	94,030	82,410	△ 11,460
長期前受金戻入ほか	515,217	526,832	535,784	△ 11,615
特別利益	77	42	1,435	35
水道事業費用	3,179,168	3,119,571	3,089,842	59,597
営業費用	2,937,072	2,869,491	2,825,045	67,581
受託工事費	124,137	122,265	85,842	1,872
職員給与費	281,607	307,959	316,494	△ 26,352
委託料	391,938	351,321	348,504	40,617
動力費	190,706	212,358	214,695	△ 21,652
薬品費	27,015	24,303	24,770	2,712
修繕費	153,215	123,017	132,287	30,198
減価償却費	1,529,329	1,518,333	1,501,446	10,996
資産減耗費	73,041	48,553	36,547	24,488
材料費	131	18	258	113
受水費ほか	165,953	161,364	164,202	4,589
営業外費用	240,767	249,499	260,062	△ 8,732
支払利息	186,058	200,987	216,721	△ 14,929
その他営業外費用	54,709	48,512	43,341	6,197
特別損失	1,329	581	4,735	748
営業利益	△ 25,238	△ 198,467	△ 192,500	173,229
純利益	330,530	172,357	162,332	158,173

収入は3,509,698千円、支出は3,179,168千円となり、収入支出差引で330,530千円の純利益となりました。

前年度と比較すると、収入は、料金改定等による水道料金の増加により217,770千円の増額となり、支出は、委託料や修繕費の増加などにより59,597千円の増額となりました。この結果、純利益は前年度より158,173千円の増額となりました。

5. 資本的収入及び支出

(単位:千円 税込)

区 分	令和2年度 決算	令和元年度 決算	平成30年度 決算	令和2年度決算と 令和元年度決算 との差
資本的収入	885,281	837,272	888,884	48,009
企業債	300,000	300,000	300,000	0
国庫支出金	0	17,629	11,459	△ 17,629
工事負担金	140,877	53,730	135,190	87,147
他会計負担金	6,755	12,282	12,537	△ 5,527
他会計繰入金	437,628	453,631	429,698	△ 16,003
固定資産売却代金	21	0	0	21
資本的支出	2,636,655	2,221,955	2,885,776	414,700
建設改良費	1,811,208	1,395,015	2,094,255	416,193
拡張事業	412,641	69,426	395,282	343,215
改良事業	1,398,567	1,325,589	1,698,973	72,978
(建設改良費の内訳)				
工事請負費	1,538,083	1,107,518	1,857,681	430,565
職員給与費	105,191	99,113	96,034	6,078
委託料ほか	113,545	143,106	128,359	△ 29,561
土地購入費	0	1,340	212	△ 1,340
給水施設費ほか	54,389	43,938	11,969	10,451
企業債償還金	825,447	826,940	791,521	△ 1,493
収支不足額	△ 1,751,374	△ 1,384,683	△ 1,996,892	△ 366,691

収入は885,281千円、支出は2,636,655千円となり、収入支出差引で1,751,374千円の収支不足となりました。

前年度と比較すると、収入は、支障移転補償工事の増加などにより、48,009千円の増額となりました。支出は、配水本管二条化工事や管路更新を推進したことなどにより414,700千円の増額となり、この結果、収支不足額は前年度より366,691千円の増額となりました。

なお、不足額は、消費税及び地方消費税資本的収支調整額、損益勘定留保資金及び建設改良積立金で補填しました。

【拡張事業】

主なものとして、「国道9号姫原東交差点～姫原西交差点配水本管布設工事」「上島水源地第4-2揚水試験井電気設備工事」など総額工事費388,894千円で実施しました。

【改良事業】

主なものとして、「大津町中央橋付近配水本管および配水管布設替工事」「浜町浜ポンプ場場内整備工事」「来原浄水場大型映像装置更新外工事」など総額工事費1,149,189千円で実施しました。

6. 留保資金残高

(単位: 千円)

財源内訳	R元年度末残高	R2年度中増加額	R2年度中減少額	補てん額	R2年度末残高
減債積立金	364	0	0	0	364
建設改良積立金	1,571,438	172,357	0	411,444	1,332,351
損益勘定留保資金	0	1,237,503	0	1,237,503	0
過年度損益勘定留保資金	0	0	0	0	0
消費税及び地方消費税 資本的収支調整額	0	102,427	0	102,427	0
当年度純利益	172,357	330,530	172,357	0	330,530
合計	1,744,159	1,842,817	172,357	1,751,374	1,663,245
貸倒引当金 賞与引当金(3条)	45,708				44,889
留保資金残高	1,698,451				1,618,356

令和2年度末の留保資金残高は、資本的収支の収支不足額を補てんした結果、1,618,356千円となりました。

前年度と比較すると、工事費の増加により、資本的収支における収支不足額が増加したため、前年度より80,095千円の減額となりました。

